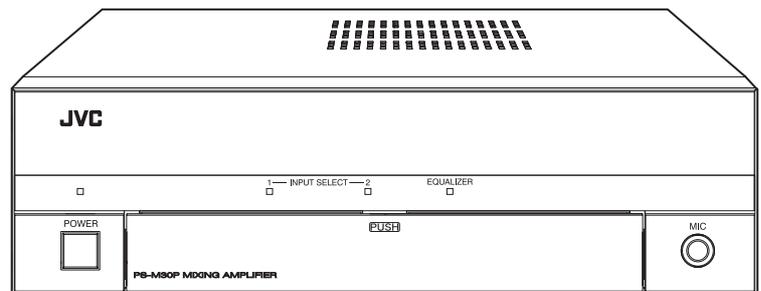


JVC

BGM アンプ

型名 **PS-M30P**

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」
をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお
使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必
要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際
は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製
造番号と保証書に記載されている製造番号が一致してい
るかお確かめください。

特長

BGM やアナウンスに適した小型パワーアンプ
出力 30 W で、BGM サウンド用、アナウンス用に適しています。

3 種類の入力と 2 種類の出力を搭載

ライン入力 2 系統、マイク入力、電話ページング入力を搭載。ハイインピーダンスまたはローインピーダンスのスピーカーに接続でき、多様な設置に対応します。

省スペース設計

幅 250 mm × 高さ 70 mm × 奥行 220 mm (フット、突起を含まない) のコンパクトサイズで、設置場所を選びません。

店舗 BGM 用イコライザー機能を搭載

BGM 再生時に快適な音質が得られるイコライザースイッチを搭載しており、使用環境に応じて音質を選ぶことができます。

PS-S10/PS-S20 と組み合わせた場合に、よりバランスの良い音になるよう音質調整しています。

誤操作を防止するフロントドアを装備

フロントドアを装備し、音量調節ボリューム、ライン入力切替スイッチ、イコライザースイッチの誤操作を防止します。

AC アウトレットを装備

CD プレーヤーなどの周辺機器用に電源アウトレット (電源非連動) を装備しています。

呼び出し放送優先回路を装備

マイク放送や電話ページング放送時に、BGM (ライン入力) の音量を自動的に下げ、より聞きやすい呼び出し放送ができます。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意 : 操作上の注意が書かれています。

メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

 : 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

もくじ

はじめに

特長	2
もくじ	3
安全上のご注意	4
正しくお使いいただくためのご注意	5
各部の名称とはたらき	8
フロントパネル	8
リアパネル	9

接続（設置業者さま向け）

接続例	10
スピーカーの接続	11
ハイインピーダンススピーカーの接続	11
ローインピーダンススピーカーの接続	11
コネクタ端子台の取り付け	11

その他

ブロックダイアグラム	12
保証とアフターサービス	13
仕様	14

安全上のご注意

警告

万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、又はブレーカーを切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードの継ぎ足しは火災や感電の原因となりますので、おやめください。

分解や改造をしないでください。火災や感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。

風呂場など水のある場所で使わないでください。機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の上に火のついたものを置かないでください。火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。

本機には内部の温度上昇を防ぐために、セットの上面、底面、側面に通風孔があげてありますのでふさがないようにください。内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。

通風孔からクリップなどの異物を挿入したり、水などの液体をこぼさないでください。内部回路がショートし火災の原因になることがあります。

本機は日本国内専用です。
必ず商用電源 AC100V 50Hz/60Hz で使用してください。

本機の設置は、技術を必要とします。
設置工事は必ず、販売店または専門の工事店に依頼してください。

注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらずに、かならずプラグを持って抜いてください。

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設けてください。電源スイッチを切っただけでは、機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

製品に悪い影響を与えますので、ほこりや振動の多い所には置かないでください。

傾いた所や弱々しい台など、不安定な場所には置かないでください。万一、落ちたり倒れたりすると大変危険です。

湿気の多い場所または油煙や湯気が当るような場所は避けてください。故障の原因となります。

窓をしめきった自動車の中や直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しないでください。
変形、変色、故障することがあります。

本機の上に“飲み物”や“花びん”などを、置かないでください。

設置後は、必ずポリ袋を回収してください。

正しくお使いいただくため のご注意

本機は、非常用放送設備としては使用できません。

保管および使用場所

- 次のような場所に置かないでください。誤動作や故障の原因となります。
 - 許容動作温度（0℃～40℃）範囲外の暑いところや寒いところ
 - 許容動作湿度（20%RH～80%RH）範囲外の湿気の多いところ
 - 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
 - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
 - ほこりや砂の多いところ
 - 振動の激しいところ
 - 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
 - 厨房など蒸気や油分の多いところ
 - 放射線やX線、および腐食性ガスの発生するところ

取り扱いについて

- 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。
- 本機の上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かないでください。
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。
- 内部に物を入れないでください。
通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどを入れると火災や感電の原因となります。
- オプション機器の組み込みや接続には、技術を必要とする場合があります。
オプション機器の組み込みや接続を誤ると、感電や火災の原因となることがあります。必ずお買い上げ販売店にご依頼ください。
- 電力線と入力信号線はできるだけ離して接続してください。
電源コードやスピーカーケーブルなどの電力線とマイクケーブルなどの入力信号線を近づけると、機器の動作が不安定になり、動作不良の原因となります。
- 過大入力による連続使用、音がはずんだ状態での長時間の使用、電源表示ランプが点滅した状態での使用はしないでください。本機の寿命を著しく低下させたり、破損の原因となります。
- 運用状態によって、本体ケースが熱くなることがあります。運用中や電源を切った直後はさわらないでください。
- 本機の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。
- 本機を重ねて使用しないでください。お互いの熱で誤動作したり、故障したり、火災の原因となることがあります。
- スピーカー出力端子や、ACアウトレット部分が万が一破損した場合は、感電の恐れがありますので、絶対に触らないでください。
- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 横倒しや逆さまに設置しないでください。安定した水平な場所に置いて使用してください。

移動について

- 移動するときは接続コード類をはずしてください。
移動するときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- 本機を箱から取り出すときや、移動の際に持ち運ぶときは、誤って落とさないよう、十分注意して取り扱ってください。

お手入れについて

- お手入れするときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機は柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。
- 殺虫剤など揮発性の薬品をかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤（かそざい）の働きによって変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。

省エネについて

- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードについて

- 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしないでください。
コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグやコンセントにほこりや金属が付着したまま使用しないでください。

その他

- 落雷などにより電源電圧が変動した場合、システム保護のため電源電圧が安定するまで操作できないことがあります。
- 本機および本機に接続したケーブルを強い電波や磁気の発生するところ（例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く）で使用すると、本機の動作に影響が出ることがあります。

ミュート動作について

- 電源を入れてから2秒～3秒間は音が出ませんが、これはミュート動作のためで、故障ではありません。

電源の投入について

- すべての結線が終了してから本機の電源を入れてください。接続コードの抜き差しは電源を切ってから行ってください。
- 周辺機器と組み合わせて使用する場合、本機の電源は最後に入れてください。ノイズなどによるスピーカーの破損を防止できます。

配線について

- マイクケーブルやライン信号ケーブルを、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に配線しないでください。受信障害やノイズの原因となります。10 cm 以上は離して配線してください。

マイクのバランスケーブルの使用について

- アンバランス（不平衡）タイプのケーブルを5 m 以上延長すると、電源からの誘導雑音（ブーンという音）や調光ノイズなどの影響を受けやすくなります。マイクケーブルを延長する場合は、バランス（平衡）タイプのケーブルを使用してください。

接続について

- スピーカー出力端子への接続は、電源を切ってから行ってください。ノイズの出力などによりスピーカーを破損させる原因となります。
- 過負荷は故障の原因となります。
ハイインピーダンススピーカーを接続する場合は、接続するすべてのスピーカーの合成インピーダンスを330 Ω 以上にしてください。
ローインピーダンススピーカーを接続する場合は、接続するすべてのスピーカーの合成インピーダンスを4 Ω ～16 Ω にしてください。4 Ω 未満で使用しないでください。

設置場所について

- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがないでください。
- 本機の上にものを置いたり、下に熱源となるものを置いたりしないでください。
- 本や雑誌などをのせないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- 本機を設置するときは、以下の設置スペースを確保してください。(電気用品安全法の規定による)

上面：15 cm 以上

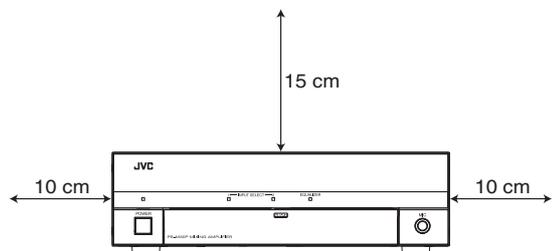
側面：10 cm 以上

背面：10 cm 以上

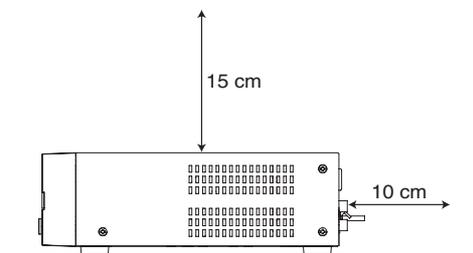
このスペースを保てない場合は、本機の性能を保証できないことがあります。本機の放熱のために、ファンなどによる十分な通気を確保してください。

詳細は弊社営業窓口または設置業者さまにお問い合わせください。

■ 正面図

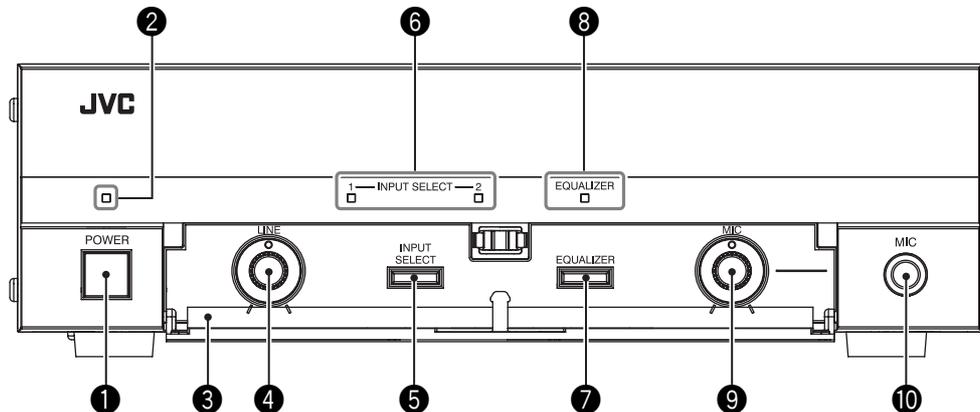


■ 側面図



各部の名称とはたらき

フロントパネル



① [POWER] 電源スイッチ

電源を入/切します。

スイッチを押すと電源が入り、電源表示ランプ②が点灯します。出力のミュート動作が終わると動作状態に入ります。

もう一度押すと電源が切れ、電源表示ランプが消灯します。

ご注意：_____

電源スイッチを切ってもわずかな電気が流れています。長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

② 電源表示ランプ

電源が入るとオレンジ色に点灯します。

また、本機内部が高温になると点滅し、出力が遮断されます。

ご注意：_____

- 電源表示ランプが点滅した状態で继续使用しないでください。故障の原因となります。
- 電源表示ランプが点滅した場合は、本機の電源を切り、温度が十分に下がったことを確認してから、再度電源を入れてください。

③ フロントドア

中央の [PUSH] を押すと開きます。

④ [LINE] ライン音量調節ボリューム

ライン入力の出力音量を調節します。

右にまわすと音量が大きくなり、左にまわすと音量が小さくなります。

⑤ [INPUT SELECT] ライン 1、2 入力切換スイッチ

ライン 1 とライン 2 の入力を切り換えます。

スイッチを押すとライン 2 に切り換わり、ライン 2 入力表示ランプ⑥が点灯します。

もう一度押すとライン 1 に切り換わり、ライン 1 入力表示ランプ⑥が点灯します。

⑥ [INPUT SELECT 1/2] ライン 1、2 入力表示ランプ

ライン 1、2 のうち、選択されているライン入力のランプがオレンジ色に点灯します。

⑦ [EQUALIZER] イコライザースイッチ

イコライザーを入/切します。

店舗 BGM として使用する場合にイコライザーを有効にしてください。低域と高域を強調し、PS-S10/PS-S20 と組み合わせた場合に、よりバランスの良い音を得ることができます。

スイッチを押すとイコライザーが有効になり、イコライザー表示ランプ⑧が点灯します。

⑧ [EQUALIZER] イコライザー表示ランプ

イコライザーが有効の場合、オレンジ色に点灯します。

⑨ [MIC] マイク音量調節ボリューム

マイク入力の出力音量を調節します。

右にまわすと音量が大きくなり、左にまわすと音量が小さくなります。

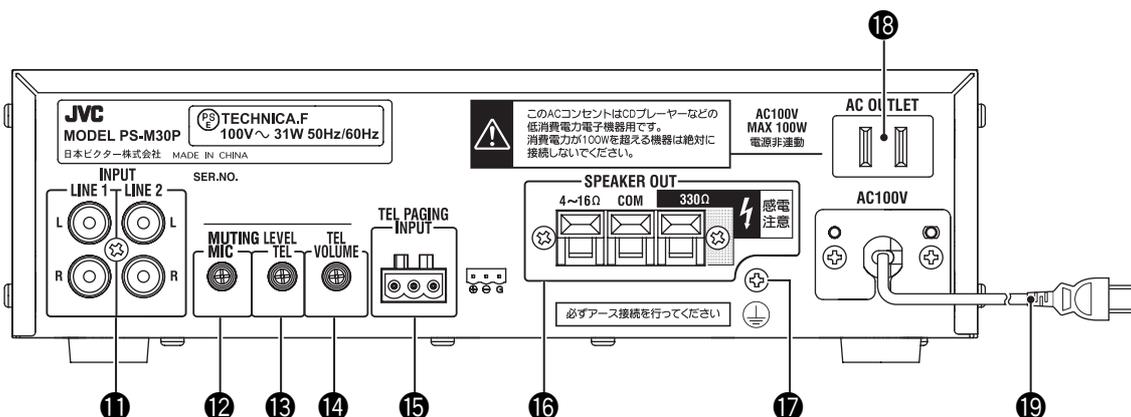
ご注意：_____

マイクロホンを使用しない場合は、ボリュームを最小位置（左に回しきる）にしてください。

⑩ [MIC] マイク入力端子

φ6.3 複式フォンジャック (-54 dB/2 kΩ、電子平衡) マイクロホンを接続します。

リアパネル



11 [INPUT LINE 1/LINE 2] ライン 1、2 入力端子 RCA ピンジャック (-10 dB/20 kΩ、不平衡)

CD プレーヤーなどの外部機器を接続します。2 系統の入力ができます。

L、R の入力信号は、本機内部でミキシングされモノラル信号になります。

12 [MUTING LEVEL MIC] マイクミュートボリューム

マイク入力音声により、ライン入力の音量を自動的に小さくする度合いを調節します。

左に回すと効果が大きくなります。

マイク入力音声を優先しない場合は、右に回しきって使用してください。

13 [MUTING LEVEL TEL] 電話ページングミュートボリューム

電話ページング入力音声により、ライン入力の音量を自動的に小さくする度合いを調節します。

左に回すと効果が大きくなります。

電話ページング入力音声を優先しない場合は、右に回しきって使用してください。

14 [TEL VOLUME] 電話ページング音量調節ボリューム

電話ページング入力の出力音量を調節します。

右にまわすと音量が大きくなり、左にまわすと音量が小さくなります。

15 [TEL PAGING INPUT] 電話ページング入力端子 コネクター端子台 (-10 dB/2 kΩ、電子平衡)

電話機主装置の放送結合ユニットのケーブルに、添付のコネクター端子台を取り付けて接続します。

メモ:

コネクター端子台の取り付けについては、「コネクター端子台の取り付け」(P. 11 ページ) をご覧ください。

16 [SPEAKER OUT] スピーカー出力端子 スピーカーを接続します。

- ローインピーダンススピーカーを接続する場合は、[4 ~ 16Ω] 端子にスピーカーケーブルの ⊕ 側を、[COM] 端子に ⊖ 側を接続します。
- ハイインピーダンススピーカーを接続する場合は、[330Ω] 端子にスピーカーケーブルの ⊕ 側を、[COM] 端子に ⊖ 側を接続します。

ご注意:

- [330Ω] 端子には、ローインピーダンススピーカーを絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- [330Ω] 端子への配線は、必ず設置業者さまが行なってください。
- [330Ω] 端子からは高電圧が出力されます。感電の恐れがありますので、配線部分には手を触れないでください。

17 接地端子

安全のため、必ずアース接続を行なってください。

ご注意:

アース接続は、電源プラグをコンセントに接続する前に行なってください。また、アース接続をはずすときは、あらかじめ電源プラグをコンセントから抜いてください。

18 [AC OUTLET] AC アウトレット (電源非連動)

本機の電源スイッチとは連動しない電源アウトレット (最大 100 W) です。

ご注意:

テレビやパワーアンプなど消費電力が 100 W を超える機器は絶対に接続しないでください。火災や故障の原因となります。

19 [AC100V] 電源コード

電源 AC100 V に電源プラグを接続してください。

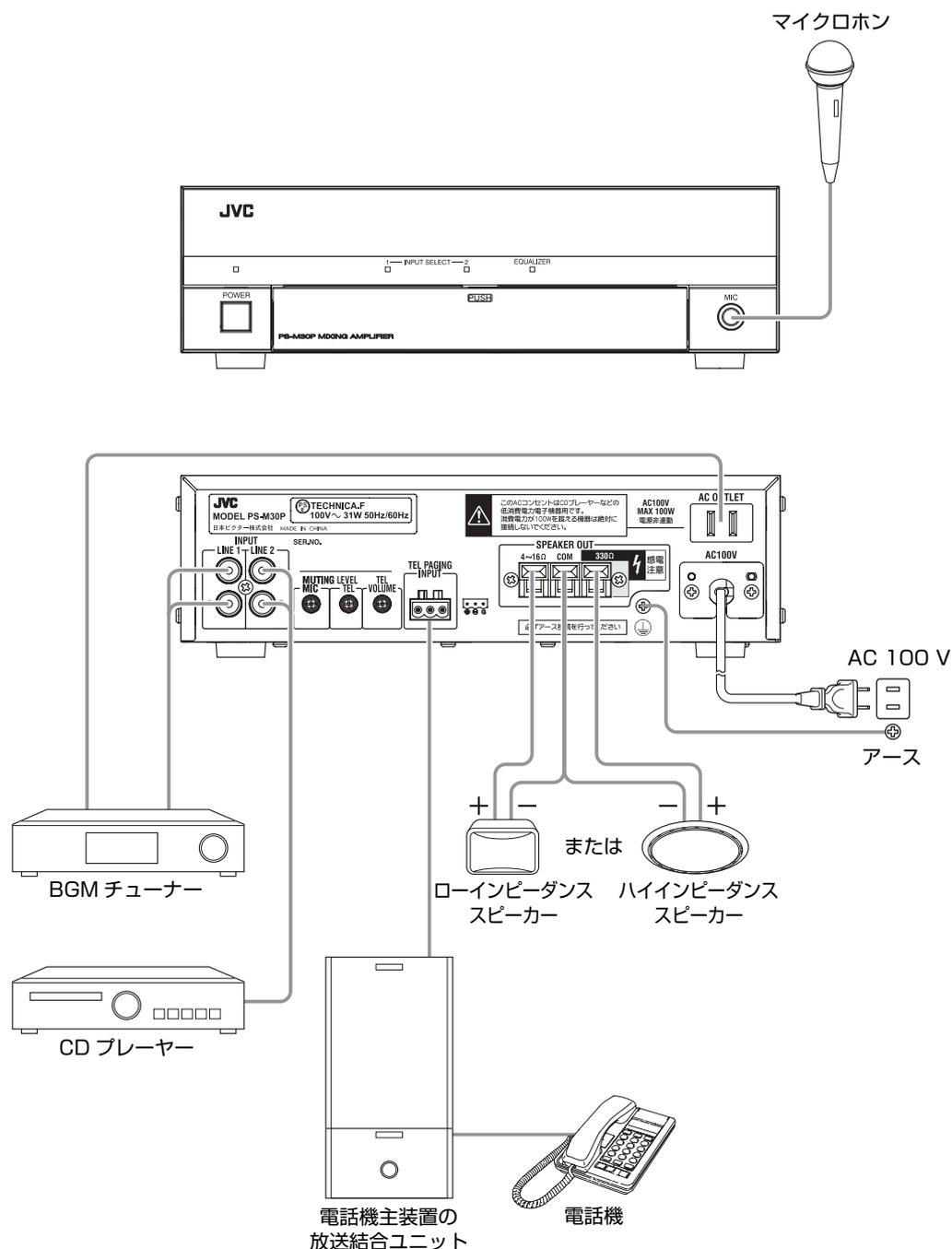
ご注意:

本機は電源スイッチ ① を切ってもわずかな電気が流れています。長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続例

ご注意：

- すべての接続が終わってから、各機器の電源を入れてください。
- ハイインピーダンスとローインピーダンスのスピーカーは、同時に接続できません。同時に接続すると機器が発熱し、故障の原因となります。
- 本機の接地端子は建物に備えられている接地端子につないでください。



メモ：

- スピーカーの接続については、「スピーカーの接続」（P.11ページ）をご覧ください。
- 電話ページング入力端子に接続するには、添付のコネクター端子台の取り付けが必要です。詳しくは、「コネクター端子台の取り付け」（P.11ページ）をご覧ください。

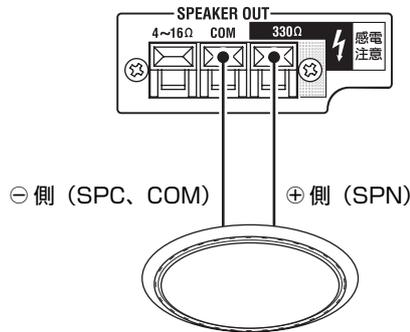
スピーカーの接続

ご注意:

- スピーカーの接続は、本機の電源を切ってから行ってください。
- ハイインピーダンスとローインピーダンスのスピーカーは、同時に使用できません。

ハイインピーダンススピーカーの接続

スピーカーケーブルの ⊕ 側を [330Ω] 端子に、⊖ 側を [COM] 端子に接続します。

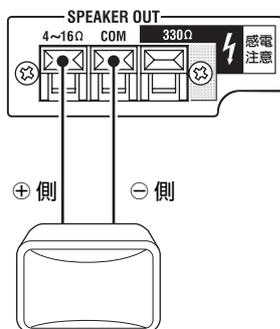


ご注意:

- 配線は必ず設置業者さまが行なってください。
- インピーダンスが 330 Ω 未満のスピーカーは接続しないでください。故障の原因となります。
- スピーカーのワット数は、30 W 以下にしてください。
- [330Ω] 端子からは高電圧が出力されます。感電の恐れがありますので、配線部分には手を触れないでください。

ローインピーダンススピーカーの接続

スピーカーケーブルの ⊕ 側を [4 ~ 16Ω] 端子に、⊖ 側を [COM] 端子に接続します。



ご注意:

インピーダンスが 4 Ω ~ 16 Ω のスピーカーを接続してください。4 Ω 未満のスピーカーや、合成インピーダンスが 4 Ω 未満で接続しないでください。故障の原因となります。

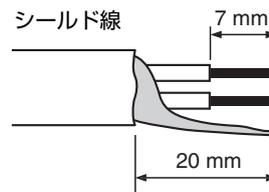
コネクタ端子台の取り付け

電話ページング入力端子に接続する場合は、接続するケーブルに添付のコネクタ端子台を取り付ける必要があります。

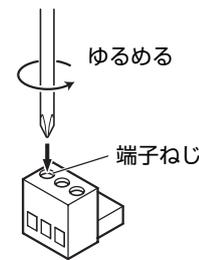
メモ:

プラスドライバー No.1 を使用します。

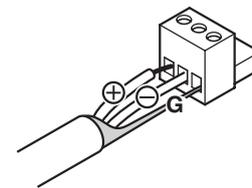
1 ケーブル (シールド線) の被覆を図のようにむき出しにする



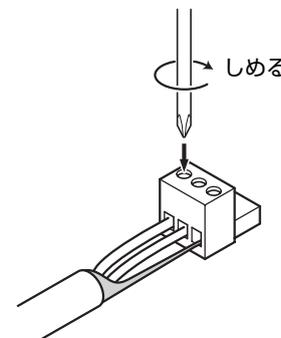
2 端子ねじを緩める



3 ケーブルを差し込む

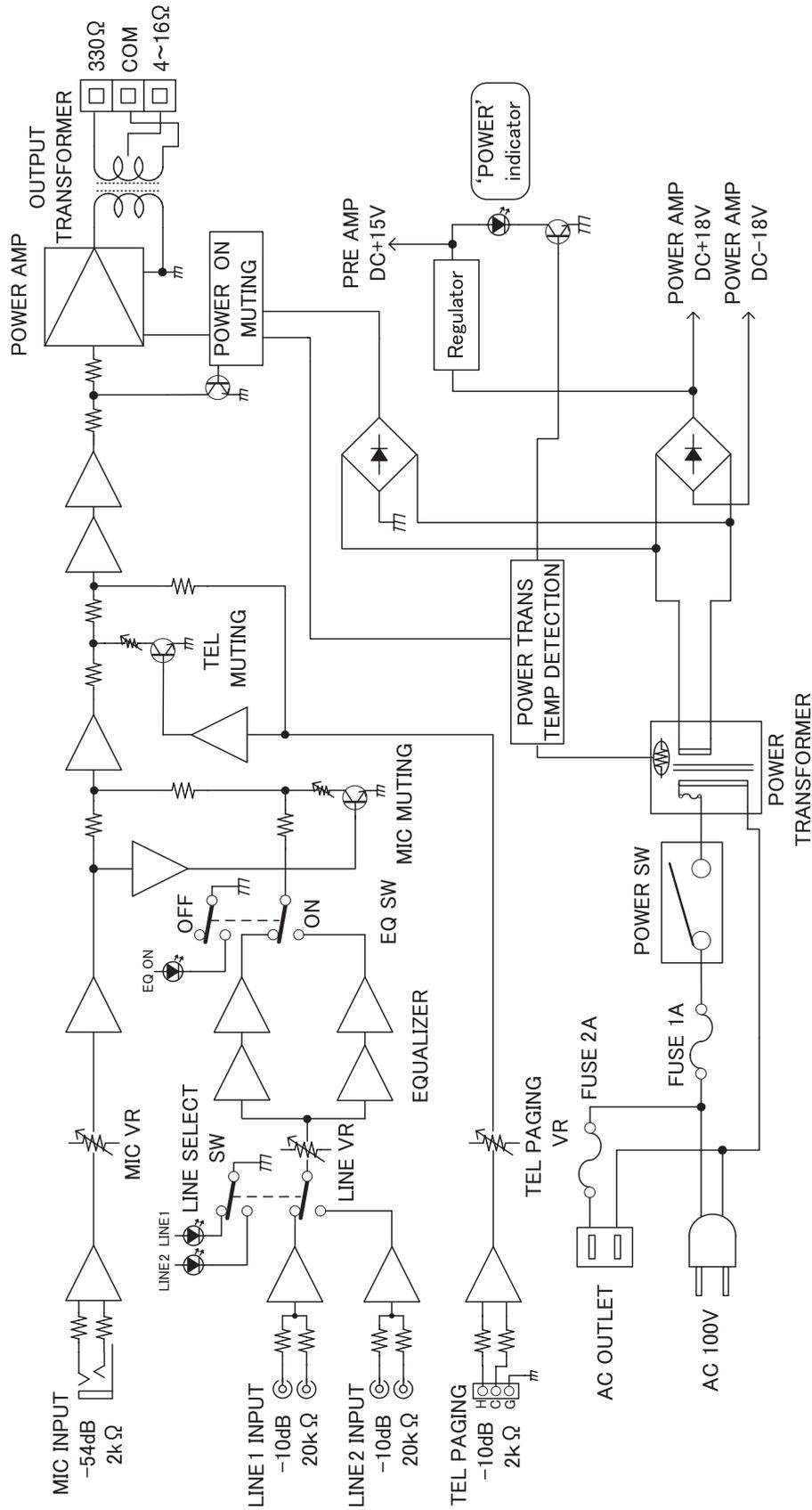


4 端子ねじを締め付け、ケーブルが抜けないことを確認する



取り付け完了です。本機の電話ページング入力端子に接続します。

ブロックダイアグラム



保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料で修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店または、最寄のサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に必要なことをお知らせください。

品名	: BGM アンブ
品番	: PS-M30P
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

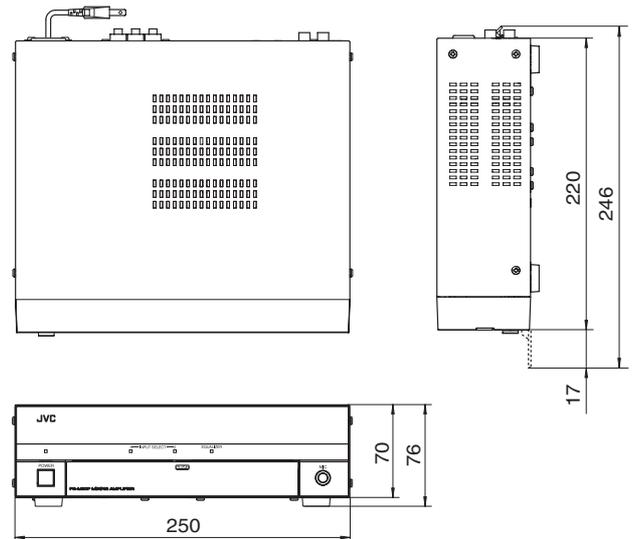
定格出力	: 30 W
負荷インピーダンス	: 4 Ω ~ 16 Ω (ローインピーダンススピーカー出力) 330 Ω (ハイインピーダンススピーカー出力)
ひずみ率	: 0.5% 以下 (330 Ω 端子出力 40 dB、 22 kHz LPF ON、ライン入力)
周波数特性 (330 Ω 端子出力、定格 -10 dB 出力時)	
マイク入力	: 100 Hz ~ 10 kHz
ライン入力	: 80 Hz ~ 20 kHz
電話ページング入力	: 300 Hz ~ 8 kHz
SN 比	: 60 dB 以上 (IHF-A、マイク入力、 入力 150 Ω 短絡) 70 dB 以上 (IHF-A、ライン入力、 入力短絡)
入力感度	
マイク入力	: -54 dB
ライン入力	: -10 dB
電話ページング入力	: -10 dB
入力インピーダンス	
マイク入力	: 2 kΩ
ライン入力	: 20 kΩ
電話ページング入力	: 2 kΩ
マイク/電話ページングミュート可変範囲	: -2 dB ~ -40 dB
イコライザースイッチ	: 5 dB ブースト (100 Hz) 6 dB ブースト (14 kHz)
電源	: AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力	: 31 W
質量	: 3.6 kg
仕上げ	
フロントパネル	: ヘアライン仕上げ
トップカバー	: 黒色焼付けシボ塗装
許容動作温度	: 0 °C ~ 40 °C
許容動作湿度	: 20 %RH ~ 80 %RH (結露なきこと)

※本書のレベル表記の dB はすべて 0 dB = 0.775 V です。

■ 添付物・付属品

取扱説明書 1
安全上のご注意 1
保証書 1
ビクターサービス窓口案内 1
コネクター端子台 (3 ピン) 1

■ 外形寸法図 (単位 : mm)



※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。



お客様ご相談センター

 0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話 (045)450-8950 [代表]
FAX (045)450-2275
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町 3-12 電話 (045) 443-3151